



平成28年度 福岡市消費生活センターの相談概要

商品分類別相談件数ランキング (件)

順位	商品分類	27年度	28年度
1	デジタルコンテンツ ※1 (うちアダルト情報サイト) (うち架空請求)	1,932 (997) (640)	2,008 (626) (861)
2	不動産貸借	965	964
3	商品一般 ※2	552	571
4	インターネット接続回線	417	460
5	携帯電話サービス	390	307
6	工事・建築	282	300
7	フリーローン・サラ金	352	258
8	エステティックサービス	255	234
9	四輪自動車	196	192
10	モバイルデータ通信	161	186

平成28年度相談件数 12,602件

前年度(13,386件)比 784件(5.9%)減少

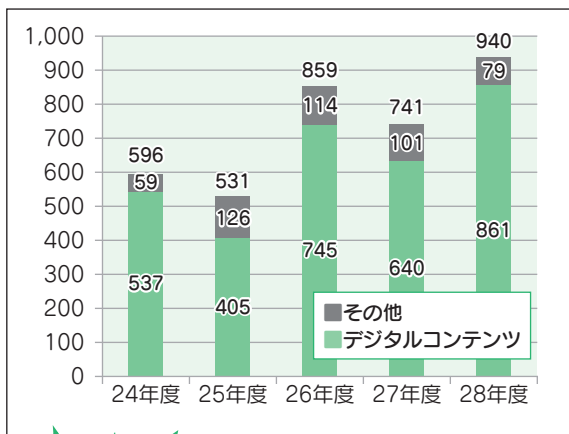
相談件数は、平成27年度の13,386件に比べて5.9%減少していますが、相談内容は複雑化・多様化しています。

商品分類別に見ると、デジタルコンテンツ(※1)が8年連続第1位で、インターネット利用時のトラブルの相談が多く寄せられています。

第4位のインターネット接続回線は、前年に比べて約40件相談が増加し、光通信プロバイダなど、大手電気通信事業者をかたる代理店の強引な電話勧誘や訪問販売、複雑な料金プラン等の説明不足や虚偽説明によるトラブル、解約の相談が多くなっています。

※1 デジタルコンテンツ…インターネットを通じた情報提供サービス。アダルト情報サイト、オンラインゲーム、音楽情報サイトなど
 ※2 商品一般…商品を特定できない相談

架空請求に関する相談件数 (件)



架空請求に関する相談が増加中!!

平成27年度にいったん減少していた架空請求に関する相談が、平成28年度は940件で26.9%増加しました。大部分がインターネットを使ったもので、特に昨年度は実在する事業者名「DMM.com」「Amazon」「Yahoo」などをかたった架空請求メールに関する相談が多く寄せられました。

有料サイトを利用している人は、利用しているサイトを把握しておき、身に覚えのない請求が届いた場合は、業者に絶対に連絡しないようにしましょう。

多発しています!

架空請求・ワンクリック請求はとにかく無視!

心理的不安をおおって連絡をさせ、個人情報を手に入れようとしています。絶対に業者には連絡をしないでください!

